

入間市地域公共交通網形成計画(原案)に対するパブリックコメントへの対応

平成28年11月18日から平成28年12月19日までの間、入間市地域公共交通網形成計画(原案)について意見を募集した結果、2人の方々から意見の提出がありました。これらの意見について適宜要約した上、それに対して以下の対応とします。

ページ・項目等	意見等の概要	対応
	まず計画(原案)の作成年月の記載と説明会の開催を希望します。	作成年月日を記載します。 地域協議会を設置し、説明会を検討します。
P17~18 ⑤総合戦略	「入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」からの抜粋についての記述は、組織ではなく、戦略のP23~P24から引用すべきと考えます。 ⇒公共交通についての記述	参考ご意見とさせていただきます。
P22 ②公共交通の空白地域	表1~2公共交通利用可能人口の中の「カバー人口・カバー率」とは何ですか？(注釈を書いて下さい)	「公共交通利用可能人口」に修正しました。 ⇒P.22
P49 ⑥ていーろーど運行の推移 P86~87・90 ていーろーど運行	ていーろーどの収支改善のために(重要) 1) 70才以上の有料化 市民理解を得るために理由を十分に説明する(高齢者の免許証返納等) 2) 運行経費の削減のためのバス小型化・ハイブリット化 3) 利用率の向上のため運行ダイヤ・経路の検討	本計画の中に持続可能な公共交通としての仕組み作りの1つとして、利用者の方には何らかの負担をしていただくことになる考えです。 1) 協議会の協議事項ですが特別乗車証の対象年齢及び負担について運行開始までに協議します。 2) 輸送の効率化のため、ワゴン型バスを導入します。 3) 効率化した輸送資源を元に運行ダイヤ、経路の検討を行います。

<p>P 6 8 ⑩充実させるべき交通手段</p>	<p>宮寺・二本木、金子地域では「ていーろーど」より「路線バス」を充実させるべきとの回答である。当地域の70才以上の高齢者（特別乗車証）は「ていーろーど」の利用が少ないのであろうか。当地域における「路線バス」の採算性は「三井アウトレットパーク」行以外は悪いと聞いています。</p> <p>したがって「ていーろーど」による補完を今後は充実していくべきと私は考えます。</p>	<p>ご指摘の地域へは、ワゴン型バスを導入していきたいと考えています。</p>
<p>P 7 2 入間市民のバス利用状況 H27. 6. 29調査</p>	<p>東金子、西武、宮寺・二本木、金子地域においては利用が少ない状況にある。</p> <p>マイカー利用者が多いと思われるがバスの利便性を向上させることにより高齢者の利用を促進させるべきである（外出することによる健康寿命の促進等）。</p>	<p>対象の自治会や団体の協力得て、利用者への啓発活動を行なっていきたいと考えています。</p>
<p>P 7 6 図1-60 ていーろーどを選択した理由</p>	<p>その他の理由の中に「運転免許証を返納したため他の手段」がないとある。</p> <p>H28. 11現在 高齢者の運転による事故が多発している事が社会問題となっている。</p> <p>（別添記事参照）11. 24付 東京新聞社説によるとH29. 3に施行される改正道交法で、75才以上の認知機能のチェックが強化される。</p> <p>それに関連して「運転免許証を返納する」高齢者の増加が見込まれる。</p> <p>「免許を手放した高齢者のために乗り合いバスや割引タクシーといったものの意見に知恵を絞りたい：とのコメントが記載されている。</p> <p>その意味で入間市としても「ていーろーど」の充実は大きな課題である。</p>	<p>免許返納者への移動手段の確保は、今後、検討すべき課題の一つとして認識しております。</p> <p>一方で、元来から免許を保有していない方への対応も必要です。</p> <p>現行制度である「特別乗車証」の配布対象をどのようにしていくかも含め、今後検討して参ります。</p>

<p>P 8 1 (1) 高齢者福祉課 (ヒアリング)</p>	<p>今後の取組みの中で「今後、デマンド交通の検討を始める予定である」について 入間市議会だよりNO. 176 (2016. 11. 1 発行) の行政視察報告「交通特別委員会」によると小牧市では「デマンド交通は、実証実験を行なったが本格導入はしなかった。」とある。 入間市の財政状況を考えると、まず路線あるいは一ろーどの充実を考え、デマンド交通の導入あるいは他市の例をリサーチする等慎重に検討する必要がある。</p>	<p>デマンド交通の導入については、財政負担が膨大なことと、公共交通の最終手段であると考えます。従ってその導入については、極めて慎重に議論を重ね、他にとる手段がない場合の導入と考えます。それまでの間ご意見どおり、調査・研究を重ねたいと思います。</p>
<p>(2) 商工課 (資料提供)</p>	<p>入間市における観光振興と公共交通の役割について商工課にヒアリングしてはどうか。</p>	<p>観光振興についても視野に入れてヒアリング等も行いました。</p>
<p>P 8 8 基本方針2 (3) 計画の期間</p>	<p>入間市における「地域公共交通」の整備は第2次田中市政において公約とされた。 H29年度の組織再編においては、都市整備或は都市計画課で所管することになっている。 私はH37以降にわたる中、長期計画またPDCAサイクルによる実証実験を要する一大プロジェクトと考える (日本全国の自治体と同様)。 したがって将来的には「公共交通検討案」として____ (他の4つと同様に) を設置すべきと考える。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>意見</p>	<p>市民に負担 (有料化) を求めるのであれば十分な説明と____ (顧客満足) を実感してもらわなければならない。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。</p>

<p>88 ページ 基本方針 1</p> <p>「市民の誰もが利用しやすい」を「市街化区域内に居住する市民の誰もが利用しやすい」に修正することを要望する。</p>	<p>市街化区域以外での居住人口・交流人口の増加は、市街地拡大を招き、公共施設集約における障害の一因となりうる。利便性向上の検討対象を市街化区域内に限定すべきと考える。なお、市税収入が潤沢という前提であれば、「市民の誰もが利用しやすい」ようにすることを否定しない。</p>	<p>この計画の基となる地域公共交通の活性化並びに再生に関する法律では、ご指摘のとおり、コンパクトシティーを形成することが掲げられています。さらに国では、コンパクト&ネットワークとして人口減少・高齢化が進む中、特に地方都市においては、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携して、コンパクトなまちづくりを進めることが重要です基本的にはその考え方も入れた計画となっております。</p> <p>しかしながら、市街化区域に重点的に公共交通を充実させるのではなく、交通不便地域、交通空白地域の解消を目指すことが本計画の考え方です。</p>
<p>89 ページ 長期的目標 1</p> <p>「超高齢社会への対応」として、「若者が利用しやすい交通網の整備」を追記することを要望する。</p>	<p>「超高齢社会への対応」という点から、高齢者に対する配慮を行うことについて合意する。</p> <p>① 一方で、若者の居住者や来訪者を増やし、将来の生産年齢人口を増やすことも併せて必要である。特に高校生以下は車を運転できないため、高齢者同様の配慮が必要である。しかしながら、本資料において、高校生以下の利便性を向上する観点での検討がされていない。そこで特に、高校生全般の通学利便性の向上検討をお願いしたい。</p> <p>② 併せて、駅から市内の高校にスクールバスで通う高校生と、自転車通学の小中学生の路線バス活用検討をお願いしたい。</p>	<p>① 高校生に特化することなく、市の総合戦力も含めて、通勤、通学の利便性の確保が必要と考えております。</p> <p>② ③の回答も含め、今後、公共交通をご利用いただけるデータを PDCA サイクルの中で収集し、検討課題とします。</p>

	③ 更に、可能であれば、1-3(53 ページ)の住民アンケート調査について、若者を抽出した集計、あるいは若者を対象としたアンケート調査を実施し、本計画へ反映をお願いしたい。	その結果を専門家が分析し、利用率向上に繋がれば、協議会に諮り、利用者増と判断すれば、高校生、小中学生に関わらず、計画修正します。
--	--	--

※意見欄における____部については、文字不明箇所